

## 令和5年度 宗谷管内コンプライアンス確立会議

日時：令和5年6月12日（月）9:30～10:30 Web会議システム（ZOOM）による遠隔会議

参加者：管内各市町村教育委員会教育長、北海道稚内高等学校長、北海道稚内養護学校長、管内校長会会長 計13名



宗谷教育局は、6月12日（月）にWeb会議システム（ZOOM）を活用して、コンプライアンス確立会議を開催した。

本会議は、教職員の不祥事等の再発防止に向け、職員一人一人が服務規律の確保や法令遵守について高い意識を持つことが求められていることから、管内全体で、その未然防止に向けて取り組んでいくため、教職員の不祥事等の再発防止に向けた取組に対する意見交換や情報交換を行い、より実効性のある再発防止策を検討することを目的に開催した。

会議には、各市町村教育委員会教育長に加え、稚内高等学校長、稚内養護学校長、管内校長会会長が出席し、意見交換の上、今年度の重点目標を決めた。

### ○ 開会挨拶 宗谷教育局長 山崎 義一

教職員の不祥事は、言うまでもなく、決してあってはならないものであり、学校教育の根幹を揺るがす問題である。

今後とも、各市町村教育委員会や各学校におかれては、不祥事の防止に向け、教職員一人一人の意識改革が図られるような、教職員の心に届く取組を進めるなど、危機感をもって不祥事防止に取り組まれるようお願いする。

### ○ 講話「学校職員の不祥事防止について」 総務政策局総務課主幹（不祥事防止対策官） 添田 雅之 氏

北海道教育庁総務政策局総務課の添田主幹（不祥事防止対策官）より、懲戒処分の発生状況や不祥事の発生原因について説明するとともに、教職員一人一人の当事者意識の醸成が課題であると、課題解決に向けて、教職員の資質向上や人材育成の視点に立った取組についての重要性について話された。

また、道教委の不祥事防止対策の取組についても、紹介いただいた。

### ○ 意見交換

渡辺教職員係長から、「令和5年度宗谷管内不祥事防止の重点目標の設定及び不祥事防止対策の取組について」を説明後、意見交換を行った。

<意見>

- ・組織的な対応が一番重要、地道に取り組んでいくしかない。
- ・他人事ではなく、一人一人に起こりうる可能性があることを認識し、全ての教職員の当事者意識の醸成を図る必要がある。
- ・不祥事はどこでも起こりうるもの、油断せず細かに対応することが重要である。
- ・ヒヤリハット体験を逃さず対応し、日頃からエンゲージメントの高い職場づくりを行うことが、不祥事が起きにくい職場づくりにつながる。
- ・人事面談の中などで、職員の状況を適切に把握し、必要な声かけや研修等を行うことが重要である。

<結果>

不祥事を許さない職場環境を組織的に推進することや全教職員の当事者意識の醸成を図ることが、不祥事等の発生を未然に防ぐことにつながると確認した。

そのため、職員一人一人が当事者意識を持って行動することはもとより、組織的な取組をとって個人の意識を高めるため、不祥事防止に向けた重点目標を設定し、全教職員、学校、市町村教育委員会、教育局が一体となった取組を推進する必要性を共通理解した上で、重点目標を「**交通事故・違反の根絶**」、「**ハラスメントの根絶**」に設定することを全会一致で承認し、不祥事防止に向けた取組を推進することとした。



宗谷コンプライアンスキャラクター  
「コンちゃん」

一人一人がコンプライアンスを確立するために若手職員が作りました。